

信州SUWAメッセプロジェクト

取り組みに至る背景・事業の目的

多様で高度な要素技術が集積している諏訪圏域のポテンシャルを活かしながら、更に高い付加価値を持つビジネス・産業・ものづくり・技術などを、先人達が築き上げた「東洋のスイス」を再興して、「世界のSUWA」ブランドとして実現するため、ものづくりに係わる地域の人々との協働により信州SUWAメッセプロジェクトを推進している。

また、メッセを機会に、次世代を担う小中学生、高校生、大学生等の人材育成に努めると共に、地域資源としての「諏訪圏工業メッセ」を起爆剤に「工業から観光・商業へ」と波及効果による地域活性化を目指している。

事業内容

- 諏訪圏工業メッセ2007」の開催
- 工業展示（250社、445ブース）
- 研修プログラム
 - 先端技術をテーマとしたセミナー、プレゼンテーション、記念講演会等の実施
- 「ものづくり」の匠の技の伝承
 - 「現代の名工」による“時計組立実演”の実施し、本物の技を知る機会を提供
- 子供向けプログラム
 - 地域の要素技術である、腕時計・オルゴールの組立てを通じた「家族ものづくり教室」の開催



【各ブースで商談】

事業効果

- 来場者：27,020人（前年比101.0%）
- ビジネス面での効果（終了直後）
 - ・出展を契機とした商談成立企業：72.2%（過去最高）うち新規受注獲得企業：12%
- ビジネス面以外の効果（以下アンケートで回答のあった企業の割合）
 - ・自社の知名度向上：65.0% ・来場者・出展企業との情報交換：56.8%
 - ・地域内企業の情報収集：56.3% ・他の出展企業との交流：42.6%
- 直接的経済効果：推計で約3.6億円（来場者宿泊費・食事・土産代・交通費 他）
- 地域のものづくり人材育成
 - 地元小学生200人、地元高校生500人の他、諏訪東京理科大学学生等多くの若者が参加

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

「諏訪圏工業メッセ核としたビジネス拡大」をテーマに、メッセ来場者や出展社から得られる貴重な情報を元に、これらを分析・活用することにより、年間を通じた戦略的な販路拡大や新規事業の創出につなげていく。

また、上記から得られる貴重な情報を出展社、来場者、地域企業・行政・支援機関等に提供し、OB人材を活用して地域における戦略的な販路拡大や新規事業の創出につなげていく。

【選定のポイント】

諏訪ブランド確立に向け、産学官連携を始め地域が一体となって取り組んでいる。出展を契機とした新規受注獲得等、着実に進展・成功しており、地域の活性化に大きく寄与している。

団体名：諏訪圏工業メッセ実行委員会（諏訪市） 連絡先：NPO法人 諏訪圏ものづくり推進機構 0266-54-2588 info@suwamesse.jp http://www.suwamesse.jp/	事業タイプ ソフト事業 事業費 76,208,869円 支援金額 15,000,000円
--	--